

# 重工記念長崎病院

Juko Memorial Nagasaki Hospital

No. 12-064-2020作成

新築  
病院

発注者	医療法人重工記念長崎病院	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所		E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携			
施工	大成建設株式会社		I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他			

## 港を一望する立地を最大限に活かし歴史ある街並みをつなぐ、地域に根差す総合病院



海側の外観

### 古くからのレンガの街並みを継承

敷地周辺には明治近代化時代のレンガ造の建造物が僅かに残り往時を偲ばせているが、安全上の理由から次第に失われつつある。新病院では、沿道100mにわたりレンガの壁を配置し、歴史的な街並みを継承する計画とした。



位置図



周辺の古いレンガ塀



地域に残るレンガ建築



大正期の病院

### 123年の歴史を掘り起こす

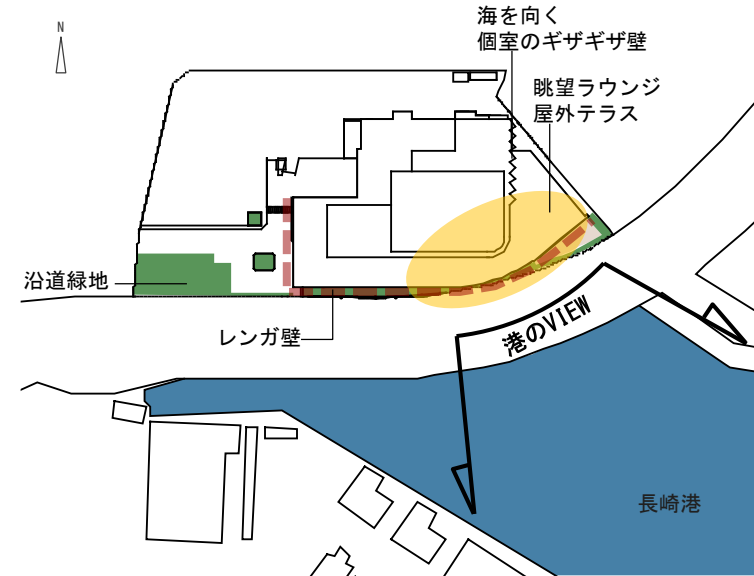
明治30年開院以来の歴史を古写真から引き出し、往時の建物デザインを随所に新病院に引用した。

### 想定外の浸水災害や塩害に強い設備配置

主要設備である、受変電設備・発電機・受水槽設備は、建物屋上に配置して、想定外の浸水（津波・高潮・あびき）を受けても建物が機能できる計画とした。また、セットバック部の屋上に機器を配置することで、海からの風を建物自体で防ぎ、塩害を緩和する計画とした。

### 港を一望する立地を最大限に活かす計画

長崎港と市街地が一望できる敷地の南東側に、ラウンジや屋外テラスを配置し、建物内の随所から眺望が楽しめる計画とした。病棟の個室はギザギザ状の窓として、正面に海を眺められる計画とした。



配置図



主要設備を屋上、陸側に配置



港を一望するラウンジ

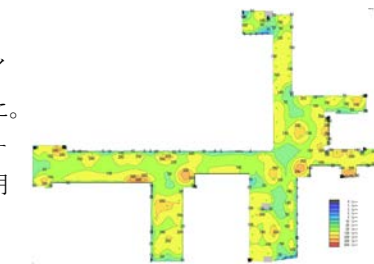


ギザギザ壁の個室

屋上テラス

### 間接照明だけで照度を確保する、「消されない演出照明」

2層の高さの待合ホールは白いリブ状の壁が連続するデザインとし、アッパーライトと天井反射光だけで照度を確保した。ホスピタルストリートには、患者を誘導するライン上のウォールウォッシャーと、サインを照らす照明だけを配置し、明暗のメリハリで患者を導く空間とした。



ホスピタルストリート照度検討



ホスピタルストリート

### アメニティ性の高い沿道緑地とオブジェサイン

緩くカーブする前面道路に沿って全面に緑地を配置し、街並みに緑の潤いを提供する計画とした。緑地内にはオブジェのようなサインを複数配置し、景観のアクセントとした。



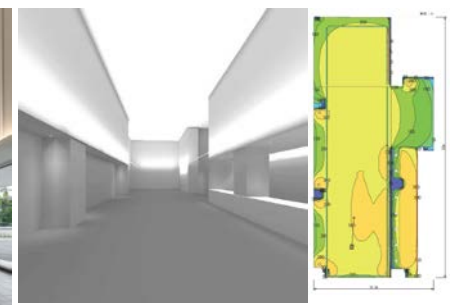
オブジェサイン



歩行者サイン



待合ホール間接照明



照度シミュレーション

設計担当者

建築：下手彫、佐々木直大、村上雄一 / 構造：藤永直樹、要知市郎、壇泰朗 / 設備：龍英夫、矢後佐和子 / 電気：箭内伸司

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2. 2 耐用性・信頼性（受変電設備や受水槽の屋上配置による津波の影響を受けない計画）
- Q3. 2 まちなみ・景観への配慮（周辺の歴史的建造物と調和する外観、沿道の緑化）
- Q3. 3 地域性・アメニティへの配慮（リハビリテラス、屋上テラスの設置）
- LR1.1 建物外皮の熱負荷抑制（Low-E複層ガラス）
- LR1.3 設備システムの高効率化（LED照明の採用）
- LR2.1 水資源保護（節水型器具、擬音装置の採用）

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	BPI（モデル建物法）0.84	B+ランク
竣工年	BEI（モデル建物法）0.93	BEE=1.2
敷地面積	LCCO2削減 14%	2016年版
延床面積		自己評価
構造		
階数		

